

4 文節の働き

4-2 基本問題

1 連文節に下線を引いて、その数を答えなさい。

[例] 涼しい風が 花のにおいを 運んでくる。 [3]

- (1) うちの犬が、自分の小屋に僕の靴を運んでいる。 []
- (2) 赤いペンで国語のノートに覚えた漢字を書いてみた。 []
- (3) 庭先のかえでが実に見事に紅葉していた。 []
- (4) 春が来たので、美しい花が咲きほこっている。 []
- (5) 見たり聞いたりしたことを記録しておく。 []

2 述語にかかると主部・修飾部を書け。

- (1) ぼくの家は、電車の駅から五分くらいの所にある。
- (2) 昨日の大雨は、山のふもとの町村に、おそろしい洪水を起こした。
- (3) 遠い波間に、白い帽子が 浮いたり沈んだりして流れている。

3 下線の連文節は何にあたるか選べ。

- (1) ①昨日の台風で、②ぼくの家の瓦はひどくやられた。 [① ②]
- (2) 洪水が、①家屋や畑を、②押し流してしまった。 [① ②]

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部 エ 接続部

4 並立の関係・補助の関係にある部分をさがし、下線を引き、どちらかを答えなさい。

- (1) 池の中を、ひごいや金魚が泳いでいる。 []
- (2) 美しい花が咲いているのを見るのは楽しい。 []
- (3) 小さな花びんに、山吹の花がさしてある。 []
- (4) 狭い庭に、桜と梅とつばきを植えた。 []